

味の素株式会社

2014年3月期 第3四半期決算概要

1. 決算概要
2. 財政状態
3. セグメント別情報

2014年1月31日

AJINOMOTO® 1.(1) 決算概要

(単位: 億円)

	2013年 4~12月		2012年 4~12月		増減額/率		2014/3期 通期予想 (11/6修正)	進捗率	2013年 10~12月		2012年 10~12月		増減額/率	
売上高	7,423	7,469	▲ 45	▲ 1%	10,320	72%	2,552	2,409	143	6%				
国内食品	2,550	3,141	▲ 591	▲ 19%	3,405	75%	938	929	9	1%				
海外食品	2,194	1,753	441	25%	3,172	69%	749	605	144	24%				
バイオ・ファイン	1,669	1,464	205	14%	2,383	70%	551	494	57	11%				
医薬	388	559	▲ 171	▲ 31%	518	75%	109	200	▲ 91	▲ 46%				
その他	623	552	70	13%	842	74%	206	181	24	13%				
営業利益	508	609	▲ 101	▲ 17%	680	75%	213	240	▲ 28	▲ 11%				
国内食品	228	292	▲ 64	▲ 22%	276	83%	118	119	▲ 1	▲ 1%				
海外食品	197	154	43	28%	263	75%	69	52	17	32%				
バイオ・ファイン	50	113	▲ 63	▲ 56%	94	53%	11	41	▲ 30	▲ 73%				
医薬	28	46	▲ 18	▲ 38%	43	66%	13	28	▲ 15	▲ 54%				
その他	4	4	1	17%	4	109%	2	1	1	161%				
経常利益	568	658	▲ 90	▲ 14%	740	77%	239	265	▲ 26	▲ 10%				
当期純利益	370	544	▲ 174	▲ 32%	480	77%	149	133	15	11%				
為替レート	円/USD	99.36	79.95		98.0									
	円/ユーロ	132.17	102.04		131.0									

注) 10~12月実績は、4~12月実績と4~9月実績の差(以下のスライドも同様)

※2014年3月期より提携事業等の純額表示(売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法)導入に伴い以下の通り変更:

- ・対象: 国内食品の「調味料・加工食品」に含まれていたケロッグ製品、提携事業の「油脂」および「コーヒー類」
- ・旧「提携事業」セグメントを廃止。「油脂」「コーヒー類」を「その他」セグメントの「油脂・コーヒー」(純額表示)として組み換え。
- ・2013年3月期実績は上記変更を反映。(以下のスライドも同様)

AJINOMOTO® 1.(2) 決算のポイント

売上高は、換算為替のプラス影響が継続し、10～12月（以下、Q3）増収。
 営業利益は、飼料用アミノ酸、医薬事業の減益を他事業でカバーできずQ3減益。

売上高・営業利益

（単位：億円）

2013年 4～12月	通期 進捗	前年 増減		2013年 10～12月	前年 増減
7,423	72%	▲1%	売上高	2,552	6%
4,739	-	6%	売上原価	1,603	10%
2,176	-	▲9%	販管費	736	4%
508	75%	▲17%	営業利益	213	▲11%

1. 為替影響 （対前年）

換算為替では、

Q3: 売上高 204億円、営業利益 17億円

4～12月累計: 売上高 657億円、営業利益 62億円

主要法人の貿易為替は、

Q3: 売上高 約10億円、営業利益 約0億円

4～12月累計: 売上高 約35億円、営業利益 ▲約5億円

2. 原燃料価格影響 （対前年）

Q3: 発酵原燃料約28億円、国内食品原材料▲約15億円

4～12月累計: 発酵原燃料約17億円、国内食品原材料▲約36億円

3. コストダウン （対前年）

Q3: 国内食品約13億円、医薬約1億円

4～12月累計: 国内食品約28億円、医薬約10億円

▲ = 損サイド



AJINOMOTO® 1.(3) 決算のポイント

経常利益

(単位:億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	前年 増減		2013年 10~12月	前年 増減
60	-	24%	営業外収支	26	6%
568	77%	▲14%	経常利益	239	▲10%

<Q3> (前年比)

* 特記なし

<4~12月累計> (前年比)

* 特記なし

純利益

(単位:億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	前年 増減		2013年 10~12月	前年 増減
38	-	▲92%	特別利益	1	▲100%
28	-	▲76%	特別損失	8	▲90%
150	-	▲65%	法人税等	65	▲72%
57	-	12%	少数株主利益	18	▲3%
370	77%	▲32%	純利益	149	11%

<Q3> (前年比)

* 関係会社株式売却益 0億円 (176億円減)

* 減損損失 0億円 (72億円減)

<4~12月累計> (前年比)

* 厚生年金基金代行返上益 0億円 (278億円減)

* 関係会社株式売却益 23億円 (159億円減)

* 減損損失 2億円 (71億円減)

AJINOMOTO® 2. 財政状態

(単位:億円)

2013年12月末:総資産 11,153



2013年3月末:総資産 10,917



2013年3月末に比し総資産236億円増加:

- ・在外子会社の貸借対照表の円貨への換算額が増加
- ・自己株式の取得による現金及び預金の減少
- ・アルテア社の全株式取得による現金及び預金の減少

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2013/12	2012/12	増減
①営業活動によるCF	290	558	▲ 268
②投資活動によるCF	▲ 501	318	▲ 819
③財務活動によるCF	▲ 286	▲ 708	422
④現金および現金同等物の残高	1,369	1,634	▲ 265
FCF(①+②)	▲ 212	876	▲ 1,087

※▲はキャッシュアウト

設備投資	403	496	▲ 93
減価償却費	341	312	28

有利子負債

(単位:億円)

<参考>

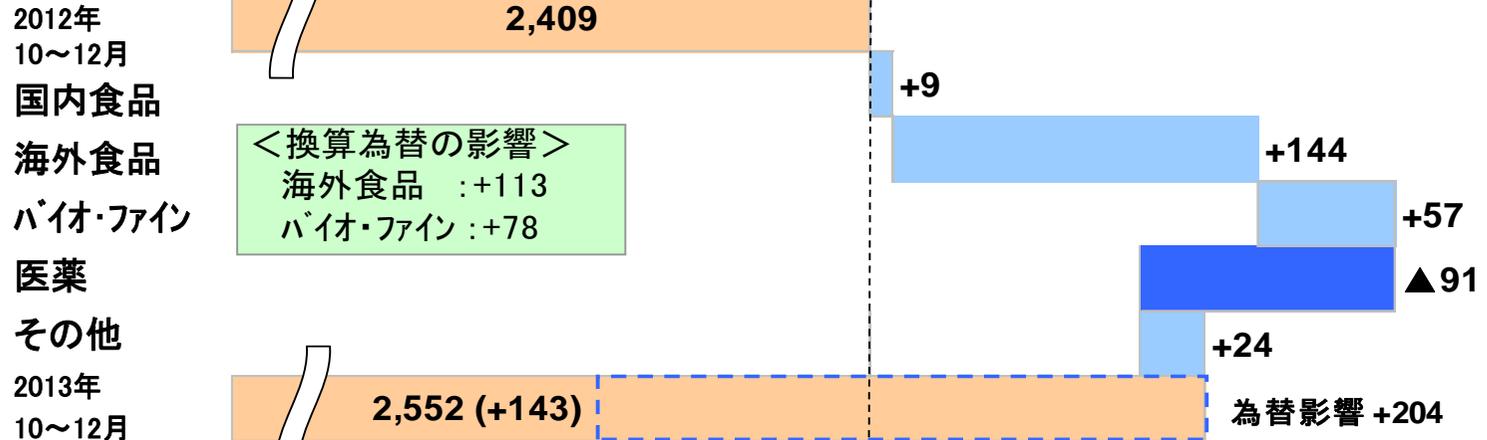
2013/12	2013/3	増減	2012/12
1,392	1,193	199	1,204



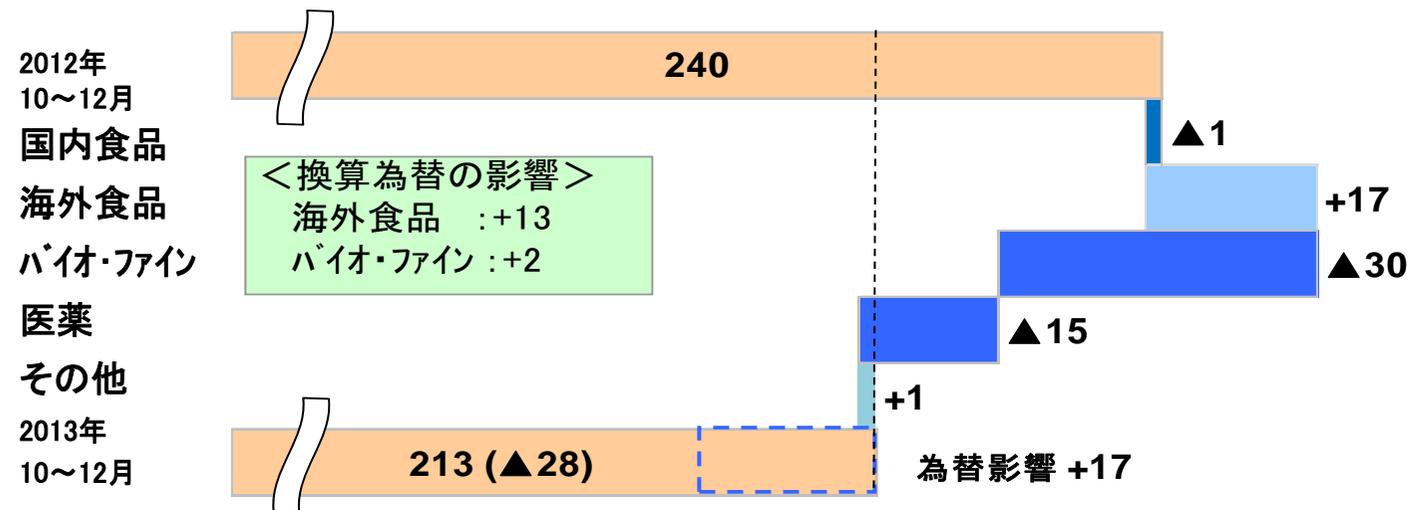
3.(1) セグメント別増減

(単位: 億円)

売上高



営業利益



3.(2) 国内食品事業

(単位:億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	2012年 4~12月	増減		2013年 10~12月	2012年 10~12月	増減	
2,550	75%	3,141	▲ 591	売上高	938	929	9	
1,642	-	1,677	▲ 34	調味料・加工食品	630	628	1	*1
908	-	870	37	冷凍食品	308	301	8	*2
0	-	594	▲ 594	飲料(「カルピス」)	0	0	0	
228	83%	292	▲ 64	営業利益	118	119	▲ 1	*3
240	-	247	▲ 7	調味料・加工食品	121	112	9	
42	-	68	▲ 26	冷凍食品	15	24	▲ 8	
0	-	48	▲ 48	飲料(「カルピス」)	0	▲ 0	0	
▲ 55	73%	▲ 72	17	全社共通費	▲ 19	▲ 17	▲ 1	

*1 カルピスギフト販売終了影響あるも、主に「ほんだし」の増収でカバーしQ3前年並み。

*2 国内はQ3前年並み。北米を中心とした海外販売が貢献しQ3増収。

*3 調味料・加工食品は増益も、円安や原材料価格上昇等による冷凍食品の減益でQ3前年並み。

3.(3) 海外食品事業

(単位:億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	2012年 4~12月	増減		2013年 10~12月	2012年 10~12月	増減	
2,194	69%	1,753	441	売上高	749	605	144	
1,812	68%	1,422	390	コンシューマーフーズ*	619	491	128	*1
382	73%	331	51	加工用うま味調味料	130	114	16	*2
197	75%	154	43	営業利益	69	52	17	*3
▲ 67	70%	▲ 57	▲ 10	全社共通費	▲ 22	▲ 17	▲ 4	

<換算為替の影響> Q3 売上高:+113、営業利益:+13
4-12月 売上高:+376、営業利益:+47

*1 換算為替の影響、うま味調味料「味の素」、風味調味料、加工食品の販売数量増等によりQ3増収。

*2 販売単価は下落も、換算為替の影響とMSGの数量増によりQ3増収。

*3 *1に伴うコンシューマーフーズの増益により、Q3増益。

参考(Q3対前年):コンシューマーフーズ+24、加工用うま味調味料▲3

3.(4) バイオ・ファイン事業

(単位: 億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	2012年 4~12月	増減		2013年 10~12月	2012年 10~12月	増減	
1,669	70%	1,464	205	売上高	551	494	57	
719	72%	689	30	飼料用アミノ酸	244	237	8	*1
580	-	452	129	アミノ酸	186	150	36	*2
330	-	286	43	化成品	107	93	13	*3
50	53%	113	▲ 63	営業利益	11	41	▲ 30	*4
8	26%	105	▲ 97	飼料用アミノ酸	▲ 1	42	▲ 43	
29	-	20	10	アミノ酸	9	1	8	
73	-	49	24	化成品	22	14	8	
▲ 47	73%	▲ 41	▲ 6	全社共通費	▲ 15	▲ 12	▲ 2	

<換算為替の影響> Q3 売上高:+78、営業利益:+2
4-12月 売上高:+237、営業利益:+7

- *1 販売単価が大幅に下落するも、換算為替の影響によりQ3増収。
 - *2 Q3は医薬用・食品用アミノ酸+12、製薬カスタムサービス(旧: 医薬中間体) +21、甘味料+4。
 - *3 香粧品はQ3前年並み。ケミカルは、電子材料の高付加価値品の販売伸長等によりQ3増収。
 - *4 主に飼料用アミノ酸の減益によりQ3減益。
- 参考(Q3対前年): アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸+3、製薬カスタムサービス+3、甘味料+3
- ※ 製薬カスタムサービス事業: 第1四半期より味の素アルテア社の業績が当該事業に反映されています。



3.(5) 医薬事業

(単位:億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	2012年 4~12月	増減		2013年 10~12月	2012年 10~12月	増減	
388	75%	559	▲ 171	売上高	109	200	▲ 91	*1
28	66%	46	▲ 18	営業利益	13	28	▲ 15	*2
▲ 10	74%	▲ 14	4	全社共通費	▲ 3	▲ 4	2	

*1 自社販売品は7月からのエイワイファーマ(株)への輸液・透析事業移管、医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)影響等によりQ3減収。

提携販売品はロイヤリティ収入減によりQ3減収。

Q3味の素製薬(株)推定薬価ベース売上(前年同期比)

「リーバクト」39億円(98%)

「エレンタール」20億円(100%)

「アテレック」38億円(91%)

「アクトネル」26億円(86%)

「ファスティック」5億円(76%)

*2 オペレーション効率の改善進めるも、ロイヤリティ収入減等によりQ3減益。

3.(6) その他事業

(単位:億円)

2013年 4~12月	通期 進捗	2012年 4~12月	増減		2013年 10~12月	2012年 10~12月	増減	
623	74%	552	70	売上高	206	181	24	*1
17	-	17	1	油脂・コーヒー	6	6	0	
4	109%	4	1	営業利益	2	1	1	*2
17	-	16	1	油脂・コーヒー	6	6	0	
▲ 21	68%	▲ 20	▲ 1	全社共通費	▲ 7	▲ 6	▲ 1	

*1 医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)等でQ3増収。

*2 健康ケア事業の増益等でQ3増益。

AJINOMOTO® 3.(7) 事業別・地域別売上高

(単位:億円)

※ 上段:2013年10~12月実績、下段:2012年10~12月実績。
()内は増減額

	日本		アジア		米州		欧州		合計	
国内食品	889	(▲4)	13	(0)	33	(12)	4	(1)	938	(9)
	892		12		21		3		929	
海外食品	26	(▲1)	505	(97)	138	(33)	80	(15)	749	(144)
	27		408		105		65		605	
バイオ・ ファイン	150	(7)	43	(7)	184	(23)	174	(19)	551	(57)
	143		36		161		155		494	
医薬	109	(▲91)							109	(▲91)
	200								200	
その他	182	(21)	23	(3)	0	(0)			206	(24)
	161		20		0				181	
合計	1,356	(▲68)	583	(107)	355	(68)	258	(36)	2,552	(143)
	1,424		476		287		223		2,409	



AJINOMOTO® 3.(8) 事業別・地域別営業利益

※ 上段：2013年10～12月実績、下段：2012年10～12月期実績
 ()内は増減額

(単位：億円)

	日本	アジア	米州	欧州	地域外*	合計
国内食品	128 (▲4)	5 (3)	3 (1)	1 (0)	▲ 19 (▲2)	118 (▲1)
	132	2	2	1	▲ 18	119
海外食品	▲ 0 (2)	73 (15)	19 (7)	▲ 2 (▲4)	▲ 21 (▲4)	69 (17)
	▲ 3	58	12	2	▲ 17	52
バイオ・ファイン	23 (12)	▲ 0 (▲4)	1 (▲23)	8 (▲6)	▲ 21 (▲7)	11 (▲30)
	12	4	25	14	▲ 14	41
医薬	16 (▲17)				▲ 3 (2)	13 (▲15)
	32				▲ 4	28
その他	8 (4)	2 (▲0)	▲ 0 (▲0)	0 (▲0)	▲ 8 (▲2)	2 (1)
	4	2	▲ 0	1	▲ 6	1
全社共通費等*	▲ 33 (▲2)	▲ 21 (▲6)	▲ 11 (▲3)	▲ 8 (▲2)	▲ 72 (▲13)	
	▲ 31	▲ 14	▲ 7	▲ 6	▲ 59	
合計	142 (▲4)	58 (7)	13 (▲19)	▲ 1 (▲11)		213 (▲28)
	147	52	32	11		240

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。

AJINOMOTO 3.(9) 事業別・地域別営業利益のポイント

2013年10～12月 対前年同期増減

1. 海外食品

日本: +2、アジア: +15、米州: +7、欧州: ▲4、地域外*: ▲4 計 +17億円

アジア 換算為替影響、コンシューマーフーズの増収で増益。

2. バイオ・ファイン

日本: +12、アジア: ▲4、米州: ▲23、欧州: ▲6、地域外*: ▲7 計 ▲30億円

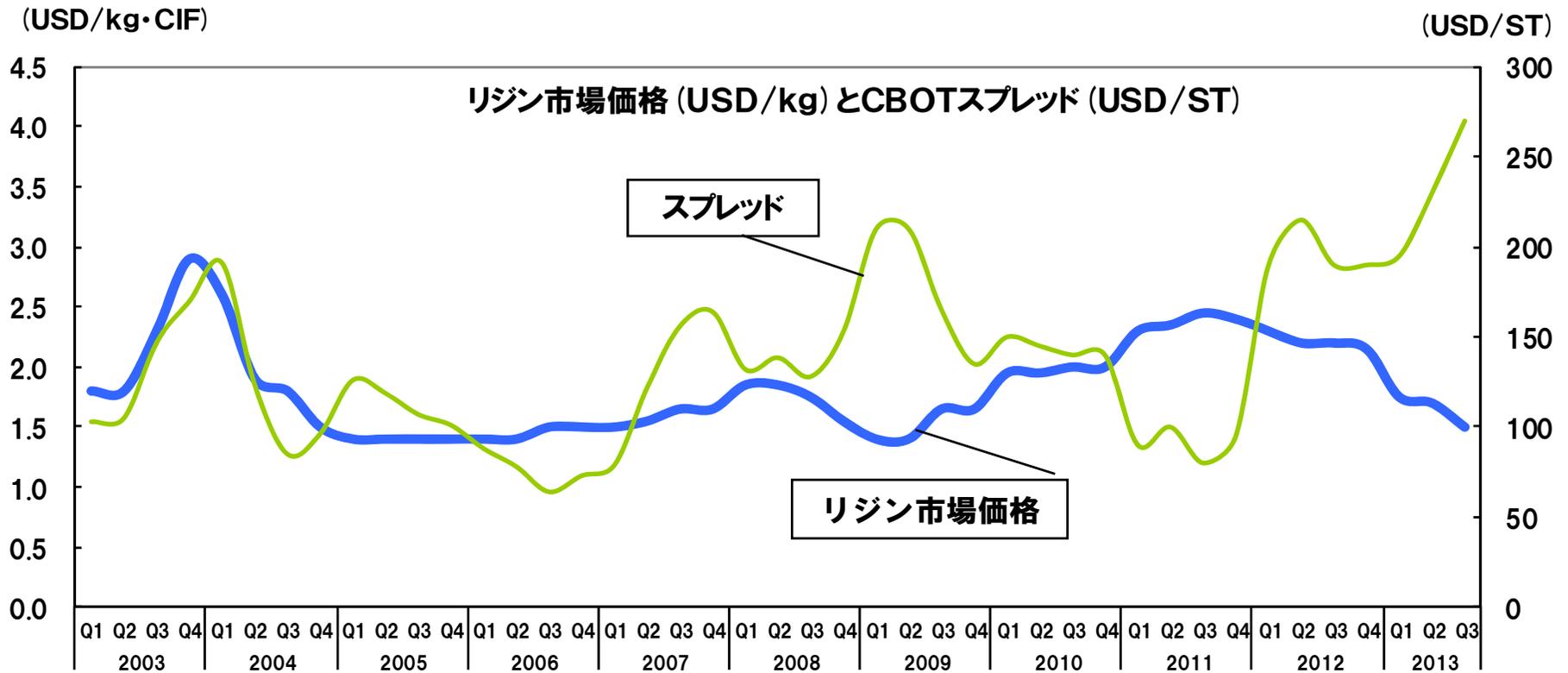
米州 主に飼料用アミノ酸で減益。

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。



AJINOMOTO 【参考】飼料用リジン市場価格、CBOTスプレッド*推移

*CBOTスプレッド=シカゴ商品取引所の大豆粕とコーンの価格差



おいしさ、そして、いのちへ。

Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、四捨五入で表示しております。